



奄美市立 小宿小学校

児童数 372 人
学級数 18 クラス



《テーマ》

どの子とも、誰とでも仲良く

研究に当たって（テーマ設定の理由）

新型コロナウイルス感染症の影響で、学級・学年の枠を超えた活動が実施できなくなり、交流する機会が激減している。そのような中、どの子とも、誰とでも交流し、仲良くすることが難しい環境であるため、仲間づくりを行う必要があると考え、テーマを設定した。

研究スケジュール

5月30日・・・職員向けの人権同和教育（仲間づくり）の研修
8月1日・・・職員向けの人権同和教育（仲間づくり）の研修
11月25日・・・児童向けの仲間づくりの演習

特色ある取組（他校にもおすすめの取組）

- 島口カレンダーによる先人の教え
日めくりカレンダーでシマグチを学ぶとともに、先人からの教えとして、自分への戒めや他者への接し方について学ぶ機会としている。
- 人権作文の発表
代表児童による人権作文の発表を全児童が聞き、人権について考える機会としている。
- 人権標語
全校児童で人権標語に取り組み、クラスごとに発表する場を設け、各自が人権について考え、学ぶ機会としている。
- 人権集会
人権集会において、構成的エンカウンターを実施し、仲間づくり、絆づくりに取り組んでいる。



【人権作文の発表】



【人権標語】

子どもの人権プロジェクト推進校の取組の成果と課題（子どもの姿、よかったこと、今後やってみたいこと）

- 人権同和教育の意義と取り組み方について学ぶ機会を得ることができた。仲間づくり（構成的エンカウンター）について詳しく研修することができた。
- 誰とでも仲良くすることの大切さやその方法について学べたことで、児童は、年齢・性別にとらわれることなく他者と接することができるようになってきている。
- 今後は、自己中心的な言動への注意だけではなく、自他共に幸せになるために必要な関わり方などについて学ぶ機会をつくりたい。